

# 叔 知 白

東中だより  
第一四四号  
平成二十五年  
二月一八日  
生徒数八九七名

## 掃除をすると人生が変わる？

今年の冬は本当に寒い日が多いように思います。立春も過ぎ雨水を迎え、日差しもだんだん強くなってきているというのに、気温は一向に上向きになりません。今年の名古屋の一月の平均気温は平年と比べると0.5℃ほど低いとか。春らしい暖かな日が待ち遠しいこの頃です。

さて、卒業式まであと3週間を切った先週の木曜日、本校では三年生の皆さんによる愛好作業が行われました。内容は3年間お世話になった校内の清掃活動です。教室や廊下、手洗い、階段、体育館、飛翔館、トイレ、側溝など校内のいたる所を一生懸命に掃除しました。

冷たい水に手を真っ赤にし、廊下や教室のぞうきんがけをしたり、トイレの便器を磨いたり、冷たい風に吹かれながら側溝の泥をすくい上げたりと本当に一生懸命取り組んでいました。普段の掃除の時間とはまた違った思い入れがあるのでしようか、それとも体操服に着替え、掃除モードになっていたからでしょうか、どの子どもとても充実し、いい顔をして取り組んでいました。

私もつい嬉しくなつて「ごくろうさん。ありがとうございますね。よろしく頼むよ」と声をかけます。すると、どの子からも「は〜い」という明るい返事とともに、とびきりの笑顔が返ってきます。その顔を見ると「掃除」の持つ力、人を育てる力を感じます。掃除は子ども達に充実感・役立ち感を与えられる最も簡単な行為です。ほんの少しでもやったただけの目に見える成果が表れますし、それにともないやりがいも感じます。そして周りも喜びます。「ごくろう

さん」とも言われれば役立ち感もひとしおです。また何よりも「きれいにすると気持ちがいい」「きちんと整った環境では勉強もしやすい」などという純粋な効果が子どもたちにプラスのエネルギーを与え、それがあの一生懸命さを引き出し、笑顔を作り出しているのだらうと思うのです。

先日縁あって「なぜ『そうじ』をする」と人生が変わるのか？(志賀内泰弘著、ダイヤモンド社)という本を手に入れました。その中に「ゴミを一つ捨てる者は、大切な何かを一つ捨てている。ゴミを一つ捨てる者は大切な何かを一つ拾っている」という言葉がありました。そして著者はその何かを「信用」だと述べているのです。なるほどと思いました。

私はかねてから、掃除は人柄を表す最たるものだと思っけています。掃除はとも地味な活動です。一つ一つ、一步一步順番に片付けていかなければなりません。面倒な作業です。子どもたちの取り組みの様子を見てみますと明るくてきばきとこなす子や黙々と誠実に進める子がいる反面、手にした道具をただ動かしているだけの子や手よりも口の方がよく動いている子もいます。

表立って言われることはないかもしれませんが、どんな取り組みをしているかは周りがちゃんと見ていて知っています。誰も見ていなくても一生懸命掃除ができる子は信用できる子です。そういう子には大切な仕事を任せられます。逆に掃除一つできない子に大切な仕事は任せられません。

また著者は、「仕事とは気づき」である。掃除はその「気づき」に気づかせてくれる」とも述べています。掃除とは汚い所を探さずから始まります。汚い所というのは「ここをきれいにすれば人が喜ぶ所」です。そこから人の欲するところ、すなわちその気づきとは人の欲するところに気づくということであり、「そこに仕事が存在する」というわけです。

こうして人の欲するところに従って役立つ、そういう仕事ができるようになれば、信用も得られるようになり、そこから出会いが生まれる。その出会い

が縁となり、多くの人から支えられ、それが徳という力になってより大きな事を成し遂げられるというわけです。このようにして考えれば、掃除をすれば人生が変わると言ってもいいのではないかと思います。

しかし掃除は、けっして人生を変えようとか成功しようとかいう目的でするものではありません。あくまでも「掃除をすると気持ちがいい」「きれいにしたい」という純粋な気持ちで行うべきものです。そういう気持ちで行ってこそ、またそれを続けてこそ、その本人にしか得られない何かを得られ、人から認められるようになるのだと思います。掃除とは磨くという行為を通して自分を磨いているのですね。

「掃除は打算や損得では続かない。掃除をしても報酬は得られない。でも、打算や損得なしで続けていけば『徳』が得られる」とはカレーハウス CoCo 老番屋の創業者、宗次徳二氏の言葉です。著者も言っています。掃除をする人には、神さまがきちんと見ていてくれて、いつの日かわからないけどちゃんとご褒美をくれるのです。その意味でも掃除は「してあげる」のではなく「させていただく」という気持ちで行うことが大切だと思います。

ひと頃トイレの神様という歌が話題になりました。その中に『トイレには、それはそれは、キレイな女神様がいるんや。だから毎日キレイにしたら、女神様みたいにべっぴんさんになれるんや』という歌詞があります。私はこれは本当のことだと思っています。「べっぴんさん」とは輝ける人柄のこと。掃除は毎日の習慣。習慣が変われば人格が変わります。人格が変われば運命が変わります。たかが掃除、されど掃除。掃除の大切さを今一度見直してみませんか。

